

主体的・  
対話的で  
深い学び

授業実践

# 日本史

過去や現在との共通点や相違点を手がかりに、  
歴史的事象を考察する問いを重ねる

富山県立富山北部高校 嘉志摩有希

## 本時の概要

〔対象／教科／科目〕3年生／地理歴史／日本史B  
 〔分野・単元〕幕府の衰退と近代への道（本時は、全7時間のうちの4時間目。P.47に本時の指導計画を掲載）  
 〔育成を目指す資質・能力〕知識、思考力、表現力、主体性  
 〔学習内容〕前時までに学習した享保の改革、寛政の改革に続けて、本時は天保の改革について学習。歴史的事象を踏まえて、一般市民が困った時に国がどのような対策をとる必要があるのかを考察した。

主 主体的な学び  
対 対話的な学び  
深 深い学び

## 13:20 問いに答えながら前時を振り返る



主  
対

授業の冒頭、嘉志摩先生が、前時の授業の内容を振り返るための問いを生徒に投げかけると、生徒は自分のノートを見ながら、隣の席の生徒と答えを言い合った。前時の授業の振り返りは、知識を定着させるために毎時間行っている。

## 13:38 現在に置き換えて考える



主  
対  
深

生徒の解答を投影し、「改革を行わなければならないのは、国が貧乏になった時という解答だけれど、国が貧乏になるのはどんな時？」などと、生徒に問いかけていった。さらに、「現代を生きる私たちは、お金がなくなったら、どうする？」と、自分に引きつけて考えることを求めた。

かしま・ゆうき 教職歴6年。同校に赴任して7年目。地理歴史・公民科。3学年担任。時代背景とともに歴史的事象を理解し、その事象が過去や現代の社会とどのような共通点・相違点を持つのかを考察する力を育む授業を追究している。

### 学校概要

◎富山市の北部地域に位置し、創立100年を超える歴史と伝統を誇る総合制高校。3学科・1コースで構成され、生徒が一人ひとり個性を磨き、相互に尊重して高め合っている。水球部、剣道部など、全国大会の出場経験を持つ部が多く、生徒会によるボランティア活動を始めとする、地域と連携した活動も盛ん。

◎設立 1916（大正5年）年

◎形態 全日制／普通科、普通科・体育コース、くすり・バイオ科、情報デザイン科／共学 ◎生徒数 1学年約240人

◎2021年度進路実績（現役のみ） 国公立大は、富山大、富山県立大、都留文科大、諏訪東京理科大、長野大、県立広島大などに17人が合格。私立大は、専修大、立命館大などに延べ125人が合格。短大・専門学校進学71人。就職30人。



13:30 改革が行われる理由を各自考察



主  
対  
深

本時の授業のキーとなる問いとして、「改革を行わなければならないのはどんな時か」「当時の状況から考えて、天保の改革を行わなければいけなかった理由は」の2つを「Classi」(\*)に投稿。生徒はまず、1人で考え、分からない場合は周囲と相談して、2つの問いの答えを入力した。

13:23 本時に関連する内容を深く振り返る



主  
対  
深

江戸時代の三大改革の共通点や相違点を理解するために、黒板の4分の1を、享保の改革、寛政の改革を振り返るスペースに、残りを、天保の改革について考えるスペースとした。そして、享保・寛政の改革に関連する問いを再び生徒に投げかけ、生徒は隣の席の生徒と話し合いながら答えていった。

14:05 授業の振り返りを入力する



主  
対  
深

授業の最後に、生徒は振り返りを「Classi」に入力。生徒は、本時の授業で学んだことや、これからの生活で生かせようと思ったこと、授業に関する質問など、自分を書きたいことを入力した (P.46 図)。入力後、隣の席の生徒と互いの振り返りを共有して、本時の授業は終了した。

13:55 重要事項を板書で整理する



主  
対  
深

人返しの方法などの農村対策や倭約令について、三大改革における共通点と相違点を整理した。説明の途中、嘉志摩先生は、「出稼ぎに行く人が多くなると、幕府はどんな影響を受けることになる？」などと、生徒に何度も問いかけ、生徒同士で話し合うことを求めた。

●私が目指す授業  
歴史を通じて  
未来を予測する力を育む

高校の教壇に立って驚いたのは、「歴史は暗記科目なので苦手です」と言う生徒が少なくなかったことでした。定期考査前に「何を覚えればよいですか」と聞いてくる生徒もいて、歴史の学習が覚えることにとどまってしまうと感じました。歴史を学ぶ意義は、失敗も含めて過去から学び、それをヒントに未来を予測したり、創造したりする力を身につけることにあります。生徒が、歴史的事象を過去や現在と比較しながら考えるような授業を行うことで、生徒のその後の人生の幅を広げたいと考えました。

日本史は覚えることが多い科目です。教師も覚えさせるための授業を行い、語句補充形式の問題を出しがちです。そうならないよう、私は授業スタイルを変え、定期考査などでも記述式の問題を出すようにして、「覚えるだけでは駄目」と、生徒に理解させることにしました。

私の授業では、生徒たちはよく話し合います。過去に学んだ内容につ

\* 株式会社ベネッセホールディングスとソフトバンク株式会社の合弁会社である Classi 株式会社が提供する、学校教育での ICT 活用を総合的に支援するサービス。

いて話し合うこともありますが、現代の事象について考えを語り合うこともありません。たくさん話し合う中で、歴史のつながりや現代の事象との関係が見えてくると、生徒は自ら進んで資料集などを読み込むようになり、理解の速度が上がっていきます。

授業における達成感も大切にしています。毎回の授業で、ペアによる前時の授業内容の振り返りを行い、単元のポイントを説明し合ったりすることで、家庭学習の習慣が十分に定着していない生徒でも、授業の中で知識を習得し、定期考査や模範試験などで成果を収めることができる授業を目指しています。

● **私の発問・課題設定の観点**  
**「自分事」にさせるために、**  
**「自分なら？」と、問いを重ねる**

1つの歴史的事象を点で捉えるのではなく、その事象の背景やそれによる影響、次の出来事との関係を理解し、現代を生きる私たちに必要な視点や考え方を考察することを、授業では大切にしています。今回の単元では、飢饉が起るとなぜ改革が行われるのか、3つの改革がどのよ

うに関連しているのかといった点を見ていく中で、「改革を行わなければならないのはどんな時か」について考えさせたいと思いました。現代の日本では、広範な地域を飢饉が襲う可能性は低いけれども、現代を生きる私たちにも、「困った」と感じることは少なからずあります。そのような時、国はどのような対策をとるべきなのか、生徒にも社会の一員として考えさせたかったです。

本時の授業でも、私は生徒に何度も「もしも、みんなが働いていて職を失ったら、その時、国にはどんな支援を期待する？」などと問いかけ、生徒同士で話し合わせました。もちろん、自分に引きつけて考えにくい題材もあります。本時も、米が当時の経済の中でどのような役割を担っていたのかを知らなければ、今の自分に引きつけて考えることは難しいでしょう。また、雇用されたことのない生徒には、職を失うことの恐ろしさを、真に理解することはできないかもしれません。私自身の社会人経験も交えて問いを補足し、生徒が少しでも自分事として歴史的事象を捉えられるように努めています。

日本史の授業で身につけた、過去や現在との共通点や相違点を見つけ

☒ **過去や現在との共通点や相違点を手がかりに考察させる**  
**「天保の改革」**

	享保の改革	寛政の改革	天保の改革
推進者	徳川吉宗	松平定信	水野忠邦
改革のきっかけ(原因)	享保の飢饉(害虫)	天明の飢饉(東北の冷害)	天保の飢饉(冷害・大洪水)
財源	米	米	米
農村対策	-	旧里帰農令(帰村奨励)	人返しの法(強制帰村)

本日のテーマ

嘉志摩先生の問い

改革を行わなければならないのはどんな時か？今の時代で考えてみると？

▶ 天保と現在との共通点

享保の改革と寛政の改革で、幕府に必要なだったものは？

▶ 天保と過去(享保・寛政)との共通点

生徒の授業後の振り返りの声

天保の改革では、米を作る担い手である農民に対してどんな政策を行ったと思う？ 寛政の改革をヒントにすると……？

▶ 天保と過去(寛政)との共通点・相違点

- 水野忠邦は、徳川吉宗や松平定信の改革を目指していたそうだが、松平定信は厳しすぎて百姓一揆や打ちこわしが起きているので、天保の改革も民衆の不満が高まるんじゃないかと思った。
- 水野忠邦は松平定信の政策をまねて、松平定信は徳川吉宗の政策をまねたことから、歴史からよかったことを学んで未来に生かすのが、歴史を学ぶ意味なのかなと思った。私も社会に出た時に、前例から学ぼうと思う。
- 水野忠邦が帰村を奨励から強制にしたように、過去から学ぶことが必要だと思った。

● **成果と展望**

**学習内容ではなく、**  
**気づきを言語化する生徒が増えた**

る力は、例えば、卒業生の先輩の話や聞いて、先輩のように高校生活の中で成長していくためにはどうすればよいかを考える際にも役に立つと、生徒に話しています。今年度は3年生の担任もしていますから、自分の進路や生き方を考える力を育てる授業を、特に心がけています。

3年前から毎時間、「Classi」を活用して授業の振り返りを行っています。最初のうちは板書の内容を要約しているだけの生徒もいましたが、

※学校資料を基に編集部で作成。

今では多くの生徒が自分なりの考えを書いたり、分からないことを質問したりしています。「今日はこんな発見をしました」と、私の想定を超えるような気づきを書く生徒も多々あります。また、「今日は現代の●●の問題についても考えました」「新聞で読んだ記事のことを思い出しました」といった生徒の言葉を聞くと、歴史を今につなげようとしているんだなと、うれしく思います。そうした振り返りは、積極的に他の生徒にも共有しています。

日本史は確かに覚えることが多い科目ですが、仮に今日学んだことを数か月後に忘れたとしても、「改革を行わなければならないのはどんな時か」について考えた経験を生かして、次の歴史的事象を深く考察できるようにしてほしいと思います。

授業中のペア活動などで見せる口頭での説明力に比べて、理路整然と記述する力が十分ではないことが、今後の課題です。定期考査の記述式の問題や、レポートなどのパフォーマンス課題をもっと充実させたいです。「Classi」での振り返りが記述力の向上に結びつく仕組みを考えていきたいと思っています。

単元の指導計画

【教科・科目】地理歴史・日本史B 【分野・単元】幕府の衰退と近代への道 【テーマ・作品】天保の改革 【設定時数】全7時間（本時は4時間目） 【単元目標】幕府の衰退の過程を理解し、その後の影響を考察する。

時数	学習内容	身につけさせたい 資質・能力	授業の流れ	教師の配慮	評価方法
1	寛政の改革 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>飢饉により、主要都市部での打ちこわしが相次ぐ中で、当時の幕府がどのような対策をとったのかを考察する。</li> <li>天明の打ちこわしを機に田沼政権が倒れ、松平定信による改革が始まったことを理解する。</li> <li>松平定信の政策は、享保の改革を行った祖父である徳川吉宗の政策と似ており、幕府の財政を立て直すために農村復興を行ったり、都市政策を行ったりしたことを理解する。</li> </ul> <p>【知識、思考力、表現力、主体性】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ペアでノートを見ながら前時の復習を行う。</li> <li>天明の飢饉により、社会が深刻な状況になっていることを理解し、人口が減少することで年貢の納入が難しくなることに気づく。</li> <li>松平定信の祖父は徳川吉宗であることから、農業を重視した政策を行ったことを理解する。</li> <li>「Classi」に本時の振り返りを入力し、ペアで共有する。</li> </ol>	<p>【主体的な学び】松平定信は祖父である徳川吉宗を理想としていることを理解させ、享保の改革とのつながりを考察させる。</p> <p>【対話的な学び】ペアで話す時間を多くつくり、必ずそれぞれの意見を伝えられる場をつくる。</p> <p>【深い学び】享保の改革とのつながりを意識させることで、農村対策を行うことが必要不可欠であることを理解させ、現代の社会との違いに気づかせる。</p>	「Classi」での振り返り
2	寛政の改革 ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕府が財政難になるということは、旗本・御家人たちの生活も苦しくなっていることを理解する。</li> <li>当時辛辣な政治風刺の黄表紙や好色の洒落本が大流行していたことから、幕府が出版統制令を出し、取り締まったことを理解する。</li> <li>松平定信のような改革を現代で行った場合、どのようなメリット・デメリットがあるのかを考察する。</li> </ul> <p>【知識、思考力、表現力、主体性】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ペアでノートを見ながら前時の復習を行う。</li> <li>旗本・御家人対策として、棄捐令を出したことを理解し、幕府を批判させないために、思想・言論統制を行ったことを理解する。</li> <li>松平定信の政策を現代で行った場合、どのようなメリット・デメリットがあるか、また、そこから学べることを考察する。</li> <li>「Classi」に本時の振り返りを入力し、ペアで共有する。</li> </ol>	<p>【主体的な学び】現代の社会で思想・言論統制が行われたら、どう思うかを考察させる。</p> <p>【対話的な学び】ペアで話す時間を多くつくり、必ずそれぞれの意見を伝えられる場をつくる。</p> <p>【深い学び】幕府を批判させないための言論・思想統制がかえって人々に不満を持たせることになったことを理解させる。</p>	
4	天保の改革 ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの時代でも改革がなぜ行われるのかを考察し、天保の飢饉による財政難、モリソン号事件による外交政策の失敗などから天保の改革が行われたことに気づく。</li> <li>享保の改革や寛政の改革と似ている点があることに気づく。</li> <li>天保の改革で行われた儉約令や人返し法の政策を理解する。</li> </ul> <p>【知識、思考力、表現力、主体性】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ペアでノートを見ながら前時の復習を行う。</li> <li>享保の改革、田沼政治、寛政の改革が行われた理由から、天保の改革を推し進めた水野忠邦が天保の飢饉の最中に老中になったことを理解し、改革を行わなければならない理由を考察する。</li> <li>天保の飢饉による財政難により、儉約令や農村対策が行われたことを理解する。</li> <li>「Classi」に本時の振り返りを入力し、ペアで共有する。</li> </ol>	<p>【主体的な学び】「何かに困っているから改革が行われる」ということに気づかせ、当時は何に対して誰が困っていたのかを自分の言葉で説明させる。</p> <p>【対話的な学び】ペアで話す時間を多くつくり、必ずそれぞれの意見を伝えられる場をつくる。</p> <p>【深い学び】改革が行われる理由を、現代と照らし合わせながら話し合わせ、当時の時代背景から必要な政策を考察させる。</p>	
7	江戸の改革のまとめ②	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸の改革について理解し、どのような影響を与えたかを考察する。</li> <li>互いに話し合いながら、現代の社会に必要な視点・考え方を考察する。</li> </ul> <p>【思考力、表現力、主体性、協働性】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ペアでノートを見ながら前時の復習を行う。</li> <li>現代の社会に必要な改革を考察し、グループで話し合う。</li> <li>グループでまとまった意見を発表する。</li> <li>「Classi」に本時の振り返りを入力し、ペアで共有する。</li> </ol>	<p>【主体的な学び】自分が困っていることを自分の言葉で説明させる。</p> <p>【対話的な学び】4人グループをつくり、それぞれの意見を必ず伝えさせるために、順番に発表させる。</p> <p>【深い学び】どの時代にも必ず困っている人はいるが、立場が違えば対策も変化することを理解させる。</p>	

\* 嘉志摩先生作成の単元の指導計画を基に編集部で作成。単元の指導計画の全7時間分は、ウェブサイト「VIEW next ONLINE」(https://view-next.benesse.jp/) からダウンロードできます。「TOP → 学校教育情報誌『VIEW next』 → 高校向けバックナンバー」をご覧ください。